

Pワン継手 施工手順書（インコア無しの場合）

W8087（1版）

適合管種

Pワン継手は、水道用ポリエチレン1種二層管（JIS規格）専用の継手です。

施工手順

- ①管を管軸に対して直角に切断してください。
- ②管の面取りを行ってください。面取りは、外角を管厚の半分程度面取りします。
※管が白色になる部分より深く面取りをしてください。
- ③差込み深さを確認し、管にマーキングを行います。（図 1）
- ④継手の中心に管の軸心を合わせて、まっすぐに差込みます。
マーキングがキャップの端面と一致するまでしっかりと差込んでください。（図 2）
- ⑤接合終了後、継手または管を適度に引張り、正しく接合されていることを確認します。

図 1. 差込み深さのマーキング

呼び径	差込み深さ
13	50mm
20	52mm
25	62mm
30	75mm
40	90mm
50	103mm

必ず管厚の半分程度面取りしてください

管外面にキズ、汚れ等ないこと

注意 差込み不足を防止するため必ず実施してください。

図 2. 管の差込み/施工完了状態

管の面取りがされていること

まっすぐ差込む

注意 挿入工具を使用する場合は、管が傾いたままの状態無理に差し込まないでください。

管が胴につきあたる

マーキングがキャップ端面と一致

管の取り外し方法

- ①管をキャップの端面から 100mm 以上離れた場所で切断します。（図 3）
管を短く切断すると管の引き抜きが困難となります。
- ②キャップをゆるめ、継手から管と一緒にキャップを取り外します。
- ③外したキャップのねじ側から管を引き抜きます。（図 4）
- ④キャップの内部を清掃し、パッキンとキャップを元の状態に戻して再使用※することができます。
（※条件あり。注意事項参照。）

図 3. 管の切断

キャップの端面

管

100mm以上

切断

図 4. 管の取り外し

管を引き抜く

管

ねじ側

仮設配管・継手再使用時の注意事項

- 夏場の露出配管においては太陽熱を吸収して、管表面温度及び水温が上昇することがありますので、常用圧力を下げるか接合部に遮へいを施す等の対策を講じてください。特に温度上昇時は、管接合部に引張荷重が加わらないよう配管を固定してください。
- 仮設配管などで継手の再使用ができるのは、パッキン、ストッパー、止め輪、インコアに異常がない場合に限りです。パッキン、止め輪、インコアに傷や変形が生じた場合、ストッパーの変形や歯が丸まった場合には新しい部品と交換してください。
- 仮設配管で使用した継手は、部品を交換した後も、本設には使用しないでください。

Pワン継手 S 型 施工手順書（インコアを使用する場合）

W8087（1版）

適合管種

Pワン継手 S型は、水道用ポリエチレン1種二層管（JIS規格）専用の継手です。

施工手順

- ①管を管軸に対して直角に切断してください。
- ②管にインコアを差込みます。インコアは奥まで確実に挿入してください。（図 1）
※インコアを使用するため、管の面取りは不要です。
- ③差込み深さを確認し、管にマーキングを行います。（図 2）
- ④継手の中心に管の軸心を合わせて、まっすぐに差込みます。
マーキングがキャップの端面と一致するまでしっかりと差込んで下さい。（図 3）
- ⑤接合終了後、継手または管を適度に引張り、正しく接合されていることを確認します。

図 1. 管へインコアの装着

インコア

管へ差込む

面取り不要

管外面にキズ、汚れ等ないこと

インコア

隙間がない

OK

隙間がある

NG

斜めカット

NG

図 2. 差込み深さのマーキング

管差込み目安マーク

管差込み深さ

マーキング

インコア

管

注意 差込み不足を防止するため必ず実施してください。

呼び径	差込み深さ
13	50mm
20	52mm
25	62mm
30	75mm
40	90mm
50	103mm

図 3. 管の差込み/施工完了状態

管とインコアの間に隙間がないこと

まっすぐ差込む

注意 インコアが緩い場合には、脱落が無い様 管の向きに注意して施工してください。

インコアが胴につきあたる

マーキングがキャップ端面と一致

注意 挿入工具を使用する場合は、管が傾いた状態で無理に差し込まないでください。

管の取り外し方法・仮設配管・継手再使用時の注意事項

- 管の取り外し方法及び仮設配管・継手再使用時の注意事項は裏面を参照してください。